

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702130	池本喜代正	特別支援教育概論	障害とは何か、その概念について考察を加え、障害児教育がどのような変遷をしてきたかを学び、今日の特別ニーズ教育の国際的動向について学ぶ。そして我が国の特別支援教育の制度・課題について考察する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育の入門的な概論である。特別支援教育に関する関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・ICF(国際的生活機能分類)による障害の捉え方について、理解する。 ・障害児の教育がどのように生じ、発展してきたか、障害児教育史に関する知識を獲得する。 ・今日の我が国における特別支援教育制度や教育の現状についての基礎的な知識を獲得する。	0	0	0	0.5	0.4	0	0	0.1
S702110	司城紀代美	知的障害児心理・生理・病理	知的障害児に関して、心理的特性とその支援方法、生理・病理の基本的知識を扱う。	知的障害児教育に関する基礎的な知識を身につけ、教職への意識を高める。	・特別支援学校の教員として必要な知的障害児の基本的特性について理解する。 ・知的障害をめぐる様々な問題に関心を持ち、心理学等の知識を用いて自分の考えを述べるができる。	0	0	0	0.5	0.4	0	0	0.1
S702180	池本喜代正	知的障害児教育課程論	知的障害児の心理的特徴をおさえ、知的障害特別支援学校における教育課程について学習する。特に教科・領域を合わせた指導である生活単元学習、日常生活の指導、作業学習などや独自の領域である自立活動について基礎的な知識の獲得を目指す。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における知的障害児教育の独自の教育課程について基礎的な知識の獲得を目指す。知的障害のある児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・知的障害児教育について基礎的な知識を獲得する。 ・知的障害特別支援学校における教育課程の独自性について理解をし、各指導形態の特徴について学ぶ。 ・知的障害児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0	0	0	0.5	0.3	0.1	0	0.1
S702190	岡澤 慎一	肢体不自由児心理学	肢体不自由といわれる人への教育的対応に関して、心理学的な視点から具体的に考えることができるようになるための基盤を築く。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、肢体不自由教育に関する入門編としての意義を持つ。	・肢体不自由といわれる人への教育的対応に関して、心理学的な視点から自分の考えを具体的に述べるができる ・肢体不自由がある子どもの音声言語以外の様々な“ことば”を受信できる	0	0	0	0.3	0.2	0.1	0.2	0.2
S702140	池本喜代正	肢体不自由児教育概論	肢体不自由の原因、特徴、特性について学ぶ。肢体不自由児教育の教育課程・教育内容について学習する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における肢体不自由児教育の入門的な概論である。肢体不自由のある児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・肢体不自由の病因について基礎的な知識を獲得する。 ・肢体不自由特別支援学校における教育課程や教育内容の特徴について学ぶ。 ・肢体不自由児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0	0	0	0.5	0.3	0.1	0	0.1
S702150	岡澤 慎一	病弱児生理学	障害がある人、とくに病弱といわれる人との係わり合いをもつにあたって、知っておいた方がよいと思われる生理学的知見に関する理解を深める。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、病弱教育に関する入門編としての意義を持つ。	障害がある人に関する基本的な生理学的知見を説明できる。	0	0	0	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・ 基盤教育 教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, ..., 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702170	池本喜代正	病弱児教育概論	病弱教育の対象の変遷と今日の病弱教育対象児の特徴について学ぶ。病弱児教育の教育課程・教育内容について学習する。	特別支援学校教諭免許状を取得するための必修科目であり、特別支援教育における病弱児教育の入門的な概論である。病弱の児童生徒の教育について関心を深め、基礎的な知識の獲得を目指す。	・病弱児教育について基礎的な知識を獲得する。 ・病弱特別支援学校における教育課程や教育内容の特徴について学ぶ。 ・病弱児に対する教育について関心を持ち、教育の在り方について考える機会とする。	0	0	0	0.5	0.3	0.1	0	0.1
S702120	梅永 雄二	知的障害児心理学特論	知的障害児の教育支援では、一人ひとりの知的障害児の特性を把握することが必要となる。とりわけ自閉症スペクトラム障害を重複する知的障害児の場合は能力にバラつきがあるため、きちんとしたアセスメントが必要になるため、指導に必要なアセスメントに関して学習する。	特別支援学校、特別支援学級等における教師はアセスメントに基づいた指導技法についてそれほど詳しいとは言えない。しかしながら、今後の知的障害児教育支援には個別の教育支援計画などを立てる上でアセスメントが必要になるため、極めて大きな意義を持つものである。	知的障害児の中には自閉症スペクトラム障害を伴う子どもが年々増加してきている。よって、WISC、WAISといった知能検査および知的障害を伴う自閉症児に特化したPEP、TTAPなどのアセスメント技法を習得することを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S702160	司城紀代美	知的障害児指導法	知的障害児の特徴を踏まえた具体的な学習指導や支援の方法について扱う。	知的障害児教育に関する実践的知識を身につけ、教職への意識を高める。	・知的障害児への指導方法を具体的に考えることができる。 ・指導や支援の過程を振り返ることができる。	0	0	0	0.3	0.1	0.3	0.2	0.1
S702240	梅永 雄二	知的障害児自立支援論	知的障害児および知的障害を伴う自閉症児の指導について、現在世界最先端と言われているTEACCHプログラムに基づいてアセスメント、コミュニケーション、構造化といった観点から指導技法を学習する。	特別支援学校に数多く在籍する知的障害を伴う最先端の自閉症の指導技法を学習することは、障害のある子どもたちの自立につながるため大きな意義を持つものと考えられる。	自閉症指導の世界最先端といわれているTEACCHプログラムにおける構造化の指導技法をマスターすることを目的とする。	0	0	0	0.6	0.3	0	0.1	0
S710000	司城紀代美	障害児療育論	障害児の保育に必要な知識や、障害のある幼児や「気になる子」を支援するための方法について扱う。	特別支援教育に関する実践的知識を身につけ、教職への意識を高める。教師にとって必要な省察力や協働する力の獲得を目指す。	・障害のある幼児や「気になる子」をとらえる視点や支援方法について理解する。 ・他者と協働して支援計画を立てるプロセスを理解する。	0	0	0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1
S702210	佐島 毅	視覚障害児教育概論	以下の事項について解説する。 1 盲児の触覚と学習 2 弱視児の視知覚と学習 3 視覚障害の定義と教育の場 4 盲児の指導 5 弱視児の指導 6 重複障害児の指導 7 視覚障害教育の基礎基本	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、視覚教育に関する入門編としての意義を持つ。	視覚障害、すなわち見えない、見えにくいことによる心理学的特性の基礎を理解した上で、視覚障害児の発達の特徴、指導法の基本について理解する。	0	0	0	0.5	0.2	0.2	0.1	0.0

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S702200	石原 保志	聴覚障害児教育概論	手話、補聴器試用、発音指導などの実技、体験を取り入れながら、聴覚障害児指導における実践的な内容を教授する。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、聴覚教育に関する入門編としての意義を持つ。	聴覚障害児の発達の特徴を捉え、特別支援教育の中で扱うべき指導事項とその内容および方法について理解すること、また聴覚障害者の就労の現状と課題および社会生活に関わる福祉、医療、法律について知ることを目標とする。	0	0	0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S702220	岡澤 慎一	重複障害児教育概論	重複障害、重度重複障害および重症心身障害といわれる人への教育的対応において重要になる視点に関して理解を深める。	特別支援学校教員免許を取得するための必修科目であり、肢体不自由児心理学、病弱児心理学の履修を前提とした応用編としての意義を持つ。	・重複障害、重度重複障害および重症心身障害といわれる人への教育的対応において重要になる視点に関して自分の考えを述べることができる。 ・重複障害がある子どもの音声言語以外の様々な“ことば”を受信できる	0	0	0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S702230	梅永 雄二	発達障害児教育概論	文科省によると、一般の小学校・中学校に知的に障害を伴わない高機能自閉症、アスペルガー症候群、LD、ADHDとが約6.5%存在すると報告されている。よって、彼らの障害特性を理解し、一般の学級における指導技法を学習する。	特別支援教育が盲・聾・養護学校から一般の小・中学校へ広がり、そこに在籍する発達障害児の課題について学習することは、教師として重要な意義を持つものとする。	LD、ADHD、高機能自閉症と言われる発達障害児の特性を理解し、小・中学校における彼らの指導技法を学習することを目標とする。	0.0	0.0	0.0	0.4	0.2	0.2	0.1	0.1
S716008	池本喜代正	障害児教育学演習Ⅰ	障害児教育に関する歴史的に重要な図書・原典を読み、特別支援教育の先達の思想や教育観について学ぶ。また、その思想の背景にある歴史的な社会背景・教育事情について理解を深める。	特別支援教育学における教育思想、教育制度についての知識の獲得とともに、論理的な思考の仕方について学習する。知的障害児教育の体験を踏まえて、特別支援教育指導者としての思想・考え方の獲得を目指す。	・障害児教育の先達の思想について学び、その先駆性と限界性について歴史的に考察できるようになる。 ・特別支援教育学における自己の問題意識を深め、問題探求の基礎的力を獲得させる。 ・特別支援教育の実践について学び、特別支援教育教師としての資質・知識の獲得をする。	0	0	0	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2
S717004	池本喜代正	障害児教育学演習Ⅱ	特別支援教育学における教育制度・教育史・教育方法などの各自の問題意識に基づいた論文を購読し、その論理性、構成などについて考察し、今日における問題の所在について考察する。	特別支援教育学における教育思想、教育制度についての知識の獲得とともに、論理的な思考の仕方について学習する。知的障害児教育の体験を踏まえて、特別支援教育指導者としての思想・考え方の獲得を目指す。論文の書き方について実践的に学ぶ。	・特別支援教育の今日的課題について研究論文購読することによって考察をする。論文執筆に関する知識を得るとともに論文構成や論理性、実証性について実践的に学ぶ。 ・専門性のある特別支援教育教師としての資質・知識の獲得をする。	0	0	0	0.2	0.4	0.1	0.1	0.2
S719104	未定	障害児心理学演習AⅠ	卒論作成のために、各自の問題意識に基づいて先行研究の検討とその結果を発表する。	特別支援学校教員免許取得のための選択必修科目であり、先行研究の到達点と課題を明らかにする。	障害者が抱える諸課題を理解し、最終的には卒業論文としてまとめる。	0	0	0	0.3	0.2	0.1	0.3	0.1
S719282	未定	障害児心理学演習AⅡ	卒論作成のために、各自の問題意識に基づいて先行研究の検討とその結果を発表する。	特別支援学校教員免許取得のための選択必修科目であり、先行研究の到達点と課題を明らかにする。	障害者が抱える諸課題を理解し、最終的には卒業論文としてまとめる。	0	0	0	0.2	0.2	0.3	0.2	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・基礎教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, . . . , 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S719315	梅永 雄二	障害児心理学演習B I	知的に重い自閉症幼児に実際に関わることによって、自閉症指導の難しさを学習することを目的とする。	知的障害を伴う自閉症の指導技法について、直接自閉症児と関わりながら学習することは、特別支援教育における実践教育として大きな意義を持つものとする。	自閉症児に何故「構造化」といった支援が必要なのかを自ら自閉症幼児に関わることによって体験し、具体的指導技法を学習することを目標とする。	0	0	0	0.5	0.2	0.2	0.1	0
S719437	梅永 雄二	障害児心理学演習B II	障害児心理学演習B1と同じである。	知的障害を伴う自閉症の指導技法について、直接自閉症児と関わりながら学習することは、特別支援教育における実践教育として大きな意義を持つものとする。	障害児心理学演習B1と同じである。	0	0	0	0.5	0.2	0.2	0.1	0
S719560	岡澤 慎一	障害児心理学演習C I	言語やコミュニケーション、各種障害がある人との事例研究や実践研究に関する文献あるいは教育実践報告の吟味および種々の障害疑似体験を行なう。そのなかで、受講学生各々が自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを構築し、深めることを目標とする。また、研究を進めていく上で必要となる種々の機材の使い方や記述記録のとり方などについても演習する。  また、受講学生の希望に応じて、特別支援学校や特別支援学級、施設や病院、教育相談場面などでの見学やそうした場での実践研究を行なうことも可能である。受講学生の主体的な参加を期待する。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な資質の開発について演習形式で行う。	自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを述べることができる。	0	0	0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・基盤教育目標	(α) 英語	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β) スポーツ健康	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ) 教養	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S719693	岡澤 慎一	障害児心理学演習C II	言語やコミュニケーション、各種障害がある人との事例研究や実践研究に関する文献あるいは教育実践報告の吟味および種々の障害疑似体験を行なう。そのなかで、受講学生各々が自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを構築し、深めることを目標とする。また、研究を進めていく上で必要となる種々の機材の使い方や記述記録のとり方などについても演習する。  また、受講学生の希望に応じて、特別支援学校や特別支援学級、施設や病院、教育相談場面などの見学やそうした場での実践研究を行なうことも可能である。受講学生の主体的な参加を期待する。  なお、本演習は、「障害児心理学演習C I」と内容的に連続するものであり、続けて受講すること。	特別支援教育専攻の選択専門科目の一つとして、特別支援学校教員に必要な資質の開発について演習形式で行う。	自身の教育観や障害観、科学観などを吟味し、障害がある人への教育的対応において必要となる視点や方法論などについて自分自身の考えを述べることができる。	0	0	0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S720005	司城紀代美	障害児教育方法学演習 I	学校や保育の場で支援が必要とされる子どもたちに関する研究について扱う。観察記録(フィールドノート)の作成方法、授業ビデオからの記録の起こし方、その分析方法についても演習する。	特別支援教育に関する実践的な知識・関心を深める。	特別支援教育に関する自分自身の研究の問いをたて、その研究課題を明らかにするための方法について吟味することができる。	0	0	0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S721001	司城紀代美	障害児教育方法学演習 II	学校や保育の場で支援が必要とされる子どもたちに関する研究について扱う。観察記録(フィールドノート)の作成方法、授業ビデオからの記録の起こし方、その分析方法についても演習する。	特別支援教育に関する実践的な知識・関心を深める。	特別支援教育に関する自分自身の研究の問いをたて、その研究課題を明らかにするための方法について吟味することができる。	0	0	0	0.2	0.2	0.1	0.3	0.2
S723010	池本喜代正・梅永雄二・岡澤慎一・司城紀代美	特別支援教育専攻卒業論文	自身の関心、問題意識に基づいて、研究テーマを設定し、自らの問いに答えを出す作業を行う。	特別支援教育専攻の必修専門科目として、特別支援学校教員および特別支援教育に必要な資質のいっそうの開発を意図しながら、受講生の関心に基づいて設定された研究テーマに応じて指導する。	自身の設定した問いに対して、自らが手に入れた事実に基づきながら、自身の答えを自分のことばで述べることができる。	0	0	0	0.2	0.2	0.2	0.3	0.1

教育学部・学校教育教員養成課程 カリキュラムマップ (特別支援教育専攻)

学習・基礎教育 目標	(α 英語)	国際的な通用性を備えた質の高い英語力の基礎が、「読む」、「書く」、「話す」、「聴く」の4技能において身につけている。	専門教育 学習・教育目標	(A) 学校教育や教職についての基礎理論・知識を習得し、教師としての使命感をもって児童生徒に接することができる。 (B) 子ども理解や学習集団形成のために必要な知識を習得し、発達段階に応じた教育方法の工夫と個性に応じた指導ができる。 (C) 教科・教育課程に関する知識・技能をもち、児童生徒の実態に合わせた教材分析・開発と学習者主体の授業が実践できる。 (D) 学校教育における様々な課題について関心を持つとともに、自己の課題を認識し探究心を持ってその解決に取り組むことができる。 (E) 他者を尊重し、協力して課題解決に取り組むなど、共に支え合い、高め合える人間関係を築くことができる。
	(β スポーツ)	生涯にわたり豊かな生活を送るため、心身の健康の重要性を、スポーツの経験を通して理解している。		
	(γ 教養)	幅広い視野に基づく行動的知性と豊かな人間性を形成していく基礎ができていく。		

時間割コード	担当者氏名	授業科目名	授業の内容	学習・教育目標との関連	授業の到達目標	学習・教育目標の項目記号							
						学習・教育目標の項目との関連を 0.0, 0.1, 0.2, …, 0.9, 1.0 の数値で表す							
						(α)	(β)	(γ)	(A)	(B)	(C)	(D)	(E)
S100309	岡澤慎一・池本喜代正・梅永雄二・司城紀代美	特別支援教育基礎論	本授業では、主として初めて特別支援教育を学ぶ人を対象に、障害の捉え方、障害を有する子どもたちの発達特性と教育の基礎的な事項について概説し、特別支援教育についての基本的知識と関心を深めることを目的としている。	本授業は、これから特別支援教育の専門科目を学ぶための入門編となる内容であるとともに、特別支援学校での介護等体験に参加する学生にとっては、障害を有する子どもたちに対する基本的な理解を深めるための事前指導(事後指導)となるように留意しているものである。	障害の捉え方、障害を有する子どもたちの特性と教育の基礎的な事項について説明することができる。	0	0	0	0.5	0.3	0.1	0	0.1